

# 金言に出逢う

題字は藤岡 抱玉さん

## 一期一会

29歳でIT会社を起業させ24年。売り上げは30倍に達した。将来の展望は「技術からサービス」を重視した経営を目指す。

コンピュータの専門学校を卒業後、設計関連の会社に勤めていたが「IT業界で仕事が夢」と決意して、ソフトウェアの開発部門がある松山の転職後、さらに制御盤メーカーに就職しソフトウェアの開発に従事した。8年間、工場向けのシステム開発などに携わり独立後の基盤となる知識を学んだ。同社に派遣で勤めていた技術者(現・玉井典彦専務)と共にフリーになり、その後大手ソフトウェア会社の基幹システム開発に携わっていた際に同社の担当部門長か

株式会社デジタルピア 代表取締役

## 高橋 利至さん(53)

「直接やってみないかと勧められて29歳で玉井氏とともに有限会社を設立した。

「正直、営業に長けていたり、優秀な技術があったわけではなかったが担当部門長とは、『できない。できる』を正直に言える信頼関係があった」と振り返る。「独立後も利益のあまりない仕事でも真摯に取り組んだことがより絆を深めることができた」と語る。

創業10年間は順調で2010年には自社ビルを建設。会社も30人に増えたために組織化に移行。「仕事さえしていれば自由にしても構わない」という社風を止めて、責任と管理をする制度を導入した。ところがこの組織化に反対した社員10人が退職。「信頼していた仲間が去り、本当にショックでした



ね」と唇をかむが「心は揺れ

ました。組織化は必要と信じて変えなかった。それが岐路だったですね」と胸中を明かす。そして、中途採用から新卒採用を重視「少数精鋭から、生産性が低くても家族愛が生まれる社風にしたかった」と組織化を貫いた。さらにリーマンショックの影響などでこの年は、創業以来初めて、赤字転落した。

その後、ハードウェア・機器開発事業を勧めにきた他社の執行役員(現・徳野吉宣専務)との出会いがきっかけで、旅客車両などのLED表示基板の製作事業に乗り出したほか、大手の下請けから元請の仕事を増やし

(たかはしとしゆき)  
1971年3月25日生まれ、西条市(旧丹原町)出身。今治コンピュータ・カレッジ卒。2000年有限会社デジタルピア代表取締役。2006年、株式会社デジタルピア代表取締役。妻と2男1女。趣味はゴルフ。血液型A型。

て業績を伸ばした。

「二期一会」という言葉が座右の銘。「独立を勧められて担当部門長、そして今の専務や常務をはじめ人との出会いでここまで来れました」と感謝する。

「将来は100億円稼げる企業にしたい」と言い、花粉症対策装置や顔認証システムの開発を目指す一方で「AIの台頭で人間の技術の必要性は限界を迎えるかもしれない」。

これからはIT製作会社というよりITサービスを提供する会社を目指し、人を大切にする会社を作りたい」と語る表情はさわやかさと信念が伝わる。

(高須賀 久徳)